

科目番号	48	科目名	レジャー・レクリエーション論		
英文科目名	Study of Leisure and Recreation				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420		FAX :	077-596-8429
担当教員	佐藤 馨 ( スポーツ 学部 准教授 )				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	未定		会場		
授業期間	2023年4月12日(水)～2023年7月19日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 50				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)		65	%	
	レポート試験(小レポート)		5	%	
	平常点(出席・授業態度)			%	
	その他(授業中盤の確認テスト)		30	%	
別途負担費用	なし				
その他特記事項	本試験だけでなく、内容も正確に理解しておく必要がある。従って普段の授業で重要と指摘された点は確実に覚えること。				
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>					
日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。					
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月12日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説			
2	4月19日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か			
3	4月26日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か			
4	5月10日	日本人の余暇生活			
5	5月17日	諸外国における余暇生活			
6	5月24日	前半までの授業のまとめと確認			
7	5月31日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味			
8	6月7日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味			
9	6月14日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル			
10	6月21日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル			
11	6月28日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例			
12	7月5日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法			
13	7月12日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用			
14	7月19日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション			
<b>&lt;教科書・参考書&gt;</b>					
教科書は特に指定しない。					
【参考文献】					
『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不味堂 1997					
『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994					
『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007					
『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997					
『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004					
『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007					